素案に対する意見について

1 経緯

1月18日、本町地区在住の町民から、広報12月号別冊に掲載の条例素案についての意見が寄せられた。

1月23日に、分庁舎にて本人と面談し、意見の概要について聴取。(近藤対応)

2 意見概要

※矢印のついた部分は、近藤が回答したものです。

(1) 前文

「奥入瀬の清流と八甲田をのぞむ」を「奥入瀬川の清流と八甲田連峰をのぞむ」としてはどうか。

→町民憲章の表現に合わせた形としている。

(2) 第2条(用語の定義)

①第2号中、「政治」とあるが、議会活動や町内会活動のほか、こういった活動を指すのか。

→例えば、町長が附属機関に諮問答申をする、各種団体からの意見を求めるといったことも含まれると考える。

②第4号中、「町民、行政および議会」とあるが、ここで突然議会という言葉が出てきている。町民と行政については、定義がなされているので理解できるが、議会についての定義はない。第2号の「町政」の定義の中に、議会活動も含まれているのであれば、「議会」の部分を「町政」として、議会に限定せずに幅広い主体が協働できるようにした方がよい。

(3) 第3条(条例の位置づけ)

「町長および町職員」＝行政ではないか。

(4) 第4条(生活に関する権利)

①第2号中「生活を送る」は「生活をする」でいいのではないか。

②第5号中「子どもから高齢者まで」とある。次の第5条では、子どもの権利を独立させているが、高齢者の権利は定義しなくていいのかという疑問が残る。

子どもの権利を強調したいということであれば、「子どもから高齢者」の部分を「年齢、性別を問わず」にしてはどうか。

(5) 第6条(個人情報)

解説文中、「町民お互い同士」とあるが、「お互い」は不要ではないか。

(6) 第11条 (互いの権利を守る権利)

この条文の趣旨は、「町民の幸福を実現すること」であると考え。だとすれば、「・・・町民の幸福を実現するために、お互いに協力して子どもを守り育て、・・・思いやるなどの努力をしなければなりません。」としてはどうか。

(7) 第4章 (町長、町職員の役割と責任)

①町長、町職員の役割と責任は理解できるが、その他の執行機関(選挙管理委員会、農業委員会など)の責任についてどこにも記載されていない。

②この章については概ね主語が「おいらせ町長および町職員」になっているが、第16条のみ「行政」となっている。他の条文が「おいらせ町長および町職員」となっているので、表記を統一した方がよい。

(8) 第35条 (開かれた議会)

この条文の内容と、第20条2項の内容は重複している。この条文も第5章の「議会の役割と責任」に入れるべきではないか。

→第20条は、議会の活動についての情報共有・公開を指しており、議会の責務ということで第5章に規定した。第35条は、町民が議会の傍聴に参加しやすいような工夫をするということで、制度整備の問題であると考え、第7章の「まちづくりのしくみ」に規定した。

(8) 第38条 (まちづくり組織とおいらせ町)

①内容がまちづくり組織に関することであるならば、まちづくり組織を主語にした条文にしてはどうか。

(例)「まちづくり組織は、自主性と自立性を尊重した活動を行うものとし、おいらせ町は、その活動に協力します。」

②解説文中、「町民も役場も」とあるが、「町民も行政も」ではないか。

(9) その他

町内会の役割と責任について明記すべきではないか。

→第8章で「まちづくり組織」について規定しており、その中でカバーできると考えている。